



やまこし

1997
7月
第348号



広報やまこし
1997
7月
第348号

発行/山古志村役場
〒947-0102 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙四六一

電話 〇二五八五九一三三〇
FAX 〇二五八五九一〇三三
編集/総務課 印刷/大川印刷株式会社

7月村民カレンダー		あまやち 会館宿泊 予約状況
1(火)	・三種混合予防接種 午後1:30~2:00 種学原診療所 ・年金定期相談日 村民相談室 ・「いきいき長生き体力づくり教室」 午後2:00~3:30 村民体育館	休
2(水)	・三種混合予防接種 午後1:30~2:00 山古志村診療所	
3(木)		×
4(金)		
5(土)		×
6(日)	・山古志村消防団連合消防演習 午前9:00~ 山古志中学校 不燃ゴミ一般開放	×
7(月)	・胃カメラ検診 午前7:20役場出発 長岡中央総合病院 ・胃部検診 午前8:30~10:30 種学原農産物処理加工場	
8(火)	・親子あそびの教室 午前9:30~11:30 竹沢保育所 ・配食サービス	休
9(水)	・血糖検査 午前8:30~ 村民会館	×
10(木)	・胃部検診 午前8:30~10:30 種学原農産物処理加工場 不燃ゴミ収集	
11(金)		△
12(土)	・青空ぼうけん塾 午前9:00~ 村民会館	×
13(日)		×
14(月)		
15(火)	・胃カメラ検診 午前7:20役場出発 長岡中央総合病院	休
16(水)	・国保人間ドック(第5回) 午前7:50役場出発 小千谷総合病院	
17(木)		
18(金)	・乳児健診・1.6才児健診・3才児健診 午後1:30~3:00 村民会館	△
19(土)	・青年交流会	×
20(日)	海の日 ・牛の角突き 池谷会場 ・青年交流会	×
21(月)	振替休日	
22(火)	・三種混合予防接種 午後1:30~2:00 種学原診療所 ・国保人間ドック(第6回) 午前7:50役場出発 魚沼病院	休
23(水)	・三種混合予防接種 午後1:30~2:00 山古志村診療所 ・血糖事後指導会 村民会館	
24(木)	・血糖事後指導会 種学原農産物処理加工場 ・配食サービス ・ほのぼのファミリースポーツ教室 午後7:30~8:30 村民体育館	×
25(金)		×
26(土)	・村PTA研究大会 午後1:00~ 村民会館	×
27(日)	・国保人間ドック(第7回) 午前6:30役場出発 新潟県健康管理協会 ・第3回村民ハイキング 不燃ゴミ一般開放	×
28(月)	・胃カメラ検診 午前7:20役場出発 長岡中央総合病院 ・事後指導会 午後1:30~3:00 虫亀多目的集会所	
29(火)	・事後指導会 午前9:30~11:00 下村集会所 午後1:30~3:00 大谷地集落センター	休
30(水)	・事後指導会 午後1:30~3:00 橋木集落センター ・少年体験教室 新潟	
31(木)	・事後指導会 午前9:30~11:00 上村担い手センター 午後1:30~3:00 中野集会所 ・少年体験教室 新潟	
8/1(金)	・親子あそびの教室 午前9:30~11:30 村民会館	×
2(土)		×
3(日)	不燃ゴミ一般開放	

あまやち会館宿泊予約状況(6月20日現在) 毎週火曜定休日
×満員です △早めに予約を 空欄は利用できます。

人口の動き (9.6.1現在) ■人口 2,557人(±0) 男 1,271・女 1,286 ■世帯数 732(±0)
■5月中のうごき □出生2人 □死亡2人 □転入3人 転出3人

はなこつたつてアイドル

瞭ちゃん

平成6年12月29日生まれ 一種学原
坂牧 滝衛・美津枝さん

体は小さいけど、パワーはダンプなみの男の子!でも、女の子に間違えられて困っています。毎日お兄ちゃんと仲良く元気に遊んで、時にはけんか。でも、お兄ちゃんが、大好き。来年から一緒に保育所に行くのを楽しみにしています。

「ふれあいと対話が築く明るい社会」

毎年七月は、「社会を明るくする運動」の強調月間です。この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人達の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

本年度の重点目標は、「地域の住民の理解と協力により、罪を犯した人や非行に陥った少年の更生を支える」です。

罪を犯した人や非行に陥った少年の更生と円滑な社会復帰については法務省を中心とした行政機関が携わっていますが、犯罪者や非行少年もいずれば地域に戻り、地域の一員として生活していくことになるのですから、その更生と社会復帰が真に実行あるものとなるためには、本人の強い意思と併せ、家庭・職場・学校・地域社会などの理解と協力が不可欠です。

今日の表紙

六月十五日に結婚された桂谷の小池裕吉さん利枝さんの結婚式当日の写真です。

さんでした。近所の人達も一目見ようと大勢集まって、今日の良き日をいっしょにお祝いしました。末永くお幸せに!次は二世の誕生を一日も早く期待したいと思います。

結婚おめでとろございます 三人力を合わせ新たな出発



今月の内容
 ◎村議会定例会 P2
 ◎分別収集 P3
 ◎スナップショット P4
 ◎お知らせ P7

国重要無形民俗文化財指定 泳ぐ宝石
「牛の角突き」と「錦鯉発祥の地」

第二回 山古志村議会定例会

会期 6月10日～11日(2日間)

▼長岡地区伝染病院組合規約の変更

▼山古志村民健康保険条例の一部改正

賦課限度額(五十二万円→五十三万円)に引き上げられました。

▼山古志村一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ二、六〇〇万円を追加し、予算総額を二四億八、四〇〇万円としました。
追加された主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

- ・国県支出金
- ・財産収入
- ・寄付金
- ・繰入金
- ・繰越金

〔歳出〕

- ・小千谷地域広域事務組合負担金
- ・高品質肉用牛導入事業
- ・救急車整備事業負担金
- ・学校電気暖房改修工事

▼山古志村診療所特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ一、四六〇万円を追加し、予算総額を一億五、三一〇万円としました。

・診療所待合室改修工事

▼山古志村老人保健特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ一、四六〇万円を追加し、予算総額を一億五、三一〇万円としました。

・診療所待合室改修工事

正予算
歳入歳出それぞれ一、〇九七万九千円を追加し、予算総額を三億五、八九七万九千円としました。

○繰越明許費繰越計算書
次の事業について、総額一億三、三三七万円を平成九年度へ繰り越した報告がありました。

- ・山村振興等農林漁業特別対策事業
- ・農地災害復旧事業
- ・農業用施設災害復旧事業

●請願
・郵政事業の在り方に関する意見



提案理由を説明する酒井村長

○山古志村監査委員の選任同意
星野三男三さん(竹沢)が選任同意されました。



新監査委員 星野三男三

見書の提出を求める請願
・義務教育費国庫負担制度の現行維持等に関する請願
・国民生活に必要な公共交通機関の維持確保の請願
☆発議
小学校統合等調査特別委員会
の設置について

山古志村監査委員に

星野さん

第二回山古志村議会定例会で山古志村監査委員に選任された星野三男三さん(竹沢)は、六月二十三日に辞令の交付を受けました。
星野さんは、現在竹沢区長をされており、農業委員会会長としても御活躍された方です。
今後の御活躍が期待されます。

畔上守二行政相談員

新潟行政監察事務所長から感謝状が贈呈



感謝状を受けた畔上さん

五月十五日に畔上行政相談員に対し、国民の行政に対する苦

―沖繩の上原さん―

教育資金にと

20万円を寄付

五月二十一日、上原清善さん(沖繩県・七十八歳)が来村し「子どもたちのための教育資金として役立てて下さい」と当村に、二十万円を寄付いただきました。

二月にも小学校の子どもたちにサトウキビを贈っていたので、「善意と教育に対する気持ちに感謝し村の教育振興を充実したい」と星野収入役から感謝状が贈られました。
上原さんは、全国各地の小学校や自治体にサトウキビや図書



星野収入役より感謝状贈呈

情の解決に尽力されたご功績により、新潟行政監察事務所長感謝状が贈呈されました。
畔上さんは、平成五年四月一日に行政相談員に委嘱されて以来、その誠実な人柄と優れた実行力、自宅での相談のほか、地域に密着した活動を続け、住民の皆様から寄せられた行政に対する苦情の解決や要望の実現に努め、行政と住民のパイプ役として活躍しておられます。
今回の受賞は、このような日頃の御苦勞が報われたものです。

券そして多額の寄付を行っています。
受けられた感謝状も二千枚以上となり、「感謝状をいただくことが、何よりの励みになります」と話されておりました。

モデル地区に虫亀地区

平成九年四月から容器包装リサイクル法が実施され、ゴミの分別収集を検討しています。今後、リサイクルできるゴミとできないゴミに分けて収集することになります。モデル地区を選定し分別収集の問題点を検討することになりました。

六月から十一月まで虫亀地区をモデル地区として、ゴミの分別(ビン・カン)収集を月一回行います。モデル地区のみならず御協力をお願いいたします。また、集められた空きビン(そのままビンとして再利用)空きカン(アルミはアルミカンに、スチールは建築用材などの鉄製品に再利用)は、七曲埋立地の資源回収センターで資源ゴミとして再生利用されます。

六月四日より分別収集を行うに先立ち、モデル地区の虫亀地区の住民を対象にゴミ処理場の視察を行いました。三十人の参加を得ました。

七曲埋立地の資源回収センターを最初に視察し実際に分別収集されてきたゴミを再利用するための工程を見学しながら、小千谷地域広域事務組合の方から説明を受けました。

次に現在十年三月の完成をめざし工事が急ピッチに進められている資源化施設の建設現場と最終処分場の現場を視察しました。小雨の降るなか熱心に施設の説明と作業の流れ等を聞き入っていました。最終処理場は、供用開始から十五年でいっぱいになるとの説明を聞き大変ビックリした様子でした。

最後に、普段から利用している時水清掃工場を視察し、生ゴミの処理工程や中央制御室での作業の様子を見学してきました。私達の出したゴミがどのような流れで処理されるか大変興味深く勉強になった



完成に向けて工事が急ピッチに進む



時水清掃工場のシステム説明を受ける

ようです。
モデル地区のみならず、ゴミの分別収集に御協力をお願いいたします。
また、分別収集の経験を、村内全域に今後生かして行きたいと思っておりますので、問題点を積極的にピックアップしていただきたいと思います。

たばこのすいがらなどの異物は必ず取り除きましょう。

王冠、キャップ、ワインびんのコルクなどをきれいに取り除きます(ただし、びんによってはどうしても取り除けない部分のあるものはそのまま出してもよい。)

ゆすいて

水をきる

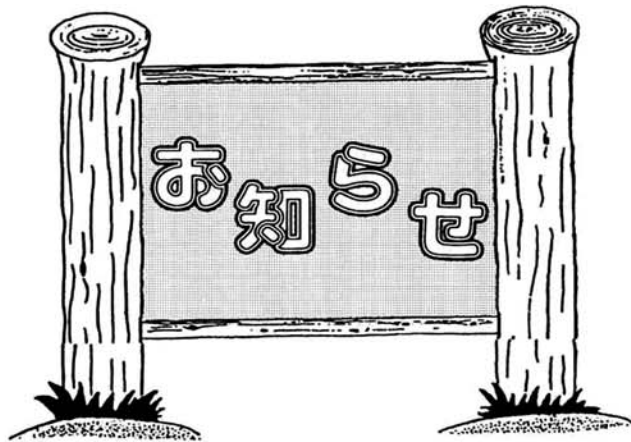
生涯学習・生涯スポーツ ニュー情報

4月21日にオープンした村民体育館は5月末日現在、1、646人の方が、利用しています。多くの皆様から御利用いただき大変感謝しております。

生涯スポーツの拠点としての第一歩を踏み出した体育館では、
・スポーツで、運動でさわやかな汗をかいてみたい人
・運動不足を解消したい人
・新しい仲間と出逢ってみたい人たちのための教室第一弾を提案しました。

「わいわいスポーツ教室」
(小・中学生対象)
「いきいき長生き体力づくり教室」
(60歳以上対象)
の参加を募集しております。健康は自分で管理するもの。運動もその大きな担い手の一つです。みんなで参加して、気持ちいい汗を流しましょう。

また、図書ラウンジに新たに「ラネット」を導入しました。自分に必要な情報を得たい方、コンピュータに触れてみたい方、見てください、使ってください。



高校生介護体験講座

参加者募集

あなたも体験しませんか！
― 介護の基本知識・技術を身につけよう ―
疑似体験を通じて高齢者の心と体について理解し、福祉用具についての知識・介護の実際について学ぶことを目的に講座が開催されます。

高校生を対象に、受講費用は無料です。
講座の内容は、実技「高齢者疑似体験うらしま太郎」・講義「安心した生活をするための住まいと福祉用具」・実技「介護のA・B・C」となっています。

新たな世界の扉が開かれます。使い方はとても簡単です。手で画面に触れるだけで、情報が目で見れます。
詳しいことは、教育委員会社会教育係まで、どうぞ！



すばらしいプレーの連続

熱戦展開!

6月9日から26日まで行われた春期混成バレーボール大会は、新しい体育館で今までにない熱戦が繰り広げられました。
参加7チームの総当たり戦で行われ、それぞれ凝ったネーミングで、とても楽しい雰囲気の中で試合が進められました。
試合内容はともレベルの高い試合が多かったと思います。なお、試合結果は8月号に掲載しますので、御了承下さい。

きれいな花を見て下さい

坂牧和栄さん(種芋原)より役場窓口にさつきの鉢植えが展示されました。村民や来客の方に見てもらい心を和ませていただければ、とのこと。この他体育館等にも展示していただきました。満開の花が役場を明るく色どり大変きれいでした。毎年、このようにきれいな花を見せていただいている坂牧さんに感謝いたします。



きれいな花が咲きました

ゲートボール用具寄付

畔上徳一さん(檜木出身)よりゲートボール用具(時計・ボール・選手用ワッペン)を寄付いただきました。



生まれ育った山古志村のゲートボール仲間にご贈っていたいたもので。現在は、刈羽郡西山町で大勢の仲間とゲートボールを楽しんでいます。

5月29日は、三ヶ地区の皆さんとプレーを楽しみ翌30日は村の大会を見学して帰られました。

仲間といっしょに畔上さん(左から2番目)

国民安全の日

7月1日は、国民安全の日です。国民一人一人が生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省をし、安全確保に留意し、習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常安全をおびやかす災害の発生の防止をはかるために創設されているものです。

防災ポスターコンクール

○応募期間 8月1日～10月20日

○募集対象 小学生(児童の部)

中・高校生(学生の部)

一般(アマの部・プロの部)

○募集作品
・地震・火山噴火・台風・豪雨・豪雪などの自然災害について、その恐ろしさを認識させ、正しい知識を普及し、日頃の心得、家庭での構え、防災訓練の重要性を訴えるなど防災をテーマとし、標語を入れた個人の作品で未発表のもの。A3判以上A2判以下の大きさの画用紙又はケント紙。
○問い合わせ先
県消防防災課防災救助係
☎025-285-5511

中学生のための公開講座

― 長岡工業高等専門学校 ―

「ストローで橋をつくろう」

7月29日(火) 9時～16時

受講料2,700円

「新しい物質、不思議な物質を作る」

8月5日(火)・6日(日)

9時～16時

受講料3,200円

「パソコンとハイテクマシンでネーム入りパーウェアを作ろう」

8月21日(木)・22日(金)

10時～15時

受講料2,700円
申し込み
長岡工業高等専門学校
学生課教務係
☎34-9331

甲種防火管理者資格付与講習会
平成9年7月28日・29日 (二日間)

午前8時30分～午後5時
小千谷地域消防本部 大会議室
申込期間 6月23日から7月19日まで 定員70名
受講料 3,500円
問い合わせ 消防本部予防課
☎34-9331

山古志村消防団 連合消防演習

日時 7月6日(日) 午前9時～
場所 山古志中学校グラウンド

日頃の練習の成果をみなさんにもご覧下さい。

第三回村民ハイキング 参加者募集

今年で、三回目を迎える村民ハイキング、今年も大勢の方から参加いただきたいと思います。

社協だより

第14号
平成9年7月1日発行

編集発行・社会福祉法人山古志村社会福祉協議会（なごみ苑内）電話 0258(59)2080



雪が消えるのを待ちきれずに萌え出るブナの芽吹き、その若草色はまさに植物体内の生命力が力強く湧き出る色であり、山古志村に住む私達はこの色に力づけられ、励まされてきました。いつしか山々は深い緑に覆われ、やまぼうしの白い花が陽ざしに映え季節の移ろいを伝えていきます。

やがて秋ともなれば、紅葉は枝を離れ土に還る。人間も昆虫も動物もすべての生物は土や水、空気、太陽などの大きな恵みを受けながら大自然と共に生きています。

少子高齢社会、本格的長寿社会を迎えたいま「誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことができる山古志」をめざして取り組んできた福祉の拠点、地域福祉センター「なごみ苑」が豊かな緑に囲まれて真米（まごめ）の地に完成しました。村の社会福祉協議会が業務運営を行なっています。

高齢者福祉はなんとしても地域住民お互いが主役となつて、在宅福祉を中心に支えて行かなければなりません。より多くのボランティアの方々の参加をお願いしながら、職員一体となつて精いっぱい努めたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



社会福祉協議会長 酒井省吾

会費納入についてお願い

社会福祉協議会の会費一世帯あたり五〇〇円の納入を、区長さんをおして七月下旬にお願いする予定になっています。

この会費は、当協議会の相互扶助の基本となる大切な財源であり大切に使用させていただきます。

どうぞ、納入についてよろしくお願いたします。

あなたも体験してみませんか。

竹沢地区の配食サービスのボランティアを募集しています。

月二回、弁当の配達業務で午前十一時から一時程度、運転の出る方。もちろん男性大歓迎。

希望される方は
でんわ 5912080
まで、ご連絡ください。

見事な、さつきの盆栽

咲分け、絞りと溢れるばかり見事に花を付けた五月の盆栽に、なごみ苑を訪れた皆さんの口からワァーと歓声があがります。種芋原の坂牧和栄さんが玄関ロビーに三鉢展示してくださったものです。

花はもとより、枝ぶり、鉢写りと本格的な盆栽は素人がみても感銘を受けます。これだけの花を付けるには一日たりとも気を抜くことができません。日頃の丹誠とともに、坂牧さんのやさしさが偲ばれる見事な作品です。

ありがとうございました。

社協の職員です。どうぞよろしく



右から
田中栄子
青木恵子
酒井一郎
江口則彦
長島康晴
星野清子
川上弘子
小池典子
佐藤和子
石原和枝

あとがき

四月一日に事務所をなごみ苑に移し三月が経過し、漸く新しい施設に慣れてきたところで拙い社協だより十四号をお届けします。

事務所の移転に伴い、なにかとご迷惑をおかけしたことと思えます。何卒ご容赦ください。

新しい施設、初めての業務に職員は試行錯誤の毎日ですが、心新たになごみ苑の歴史は自分たちで創ると、全員が張り切っています。どうぞ、お気軽になごみ苑をご利用ください。そして率直な助言やご指導を頂ければ大変うれしいと思います。

当村も高齢化率が三〇パーセントを超える超高齢社会となりました。ヘルパーの派遣を始めデイサービスやなごみ苑の管理受託と、社会福祉協議会の役割が重要視される年でもあります。

地域福祉を皆さんとともに進め「ともに支え合い、ともに生きる仲間」の意識をもとに、温かい福祉の村づくりを目指す所存です。ご意見をお寄せください。

社会福祉協議会

ことしのとりのりくみ

社会福祉協議会は、地域住民と公私の福祉関係者の集まりである自主的な民間組織で、地域社会における社会福祉活動を実施する重要な役割を担っています。

山古志村社会福祉協議会でも、全世帯から会費とさせていただき、積極的に福祉活動にとりくみながら、四月十五日から業務を開始しています。遅くなりましたが、当協議会の本年度のとりくみの概要についてお知らせします。村民各位のご理解とご協力をお願いいたします。

役員

当協議会の役員は、次のとおりです。
本年も、どうぞよろしく
お願いいたします。

基本方針

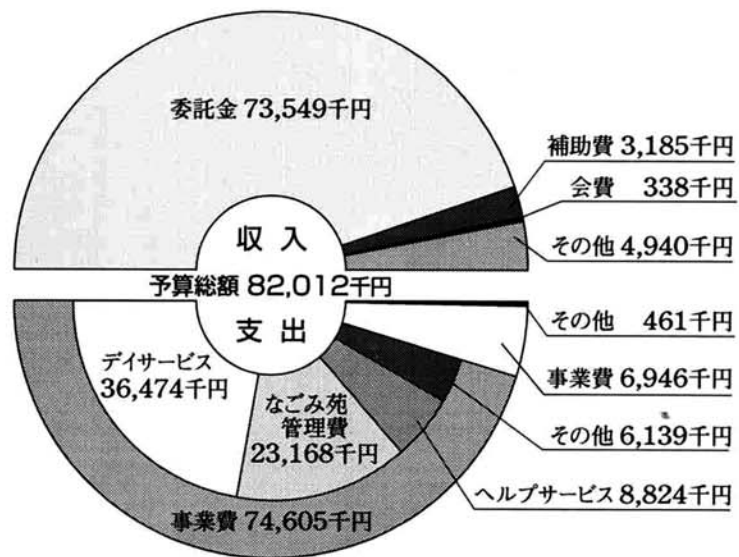
少子高齢社会の到来とともに、家族形態や意識の変化、女性の社会進出など、福祉をとりまく環境は大きく変化しています。

これらをふまえ、当協議会では、「ともに支え合い、ともに生きる仲間」という意識をもとに、地域福祉の中核としてリーダーシップをとり、住民から奉仕者としての参加協力を得ながら「すべての村民が、ともに生きるよるこびを分かちあえる明るい村づくり」を目指すとしています。

予算

なごみ苑の管理やデイサービスの受託等により本年度の予算総額は、八、二〇一万二千円となりました。

財源は村の委託金が大部分を占めており、内訳は下図のようになっています。



- ◇役員
- ・会長 酒井省吾
 - ・副 坂牧清作 (兼常務理事)

- ・理事
- 関 幸作
 - 渡 一治
 - 小 隆正
 - 松 和子
 - 星 典吉
 - 金 栄吉
 - 小川 惣右衛門
 - 五十嵐 秀夫
- ・監事
- 樺 松雄
 - 星 仲次郎

主要課題

本年度の主要課題は、次のとおりです。

- ◇なごみ苑の運営
- ◇デイサービス及びホームヘルプ事業の運営
- ◇在宅福祉サービス事業の推進
- ◇社会福祉協議会の基盤整備

事業計画

本年度の事業を、次のとおり計画しています。

- ◇福祉意識の醸成・ボランティアの育成
- ◇福祉団体の育成
- ◇マンパワーの確保

◇福祉団体の育成と活動助成

- 老人クラブ、身体障害者福祉協会、親の会、母子福祉会、遺族会、ひまわり会、赤十字奉仕団等福祉団体の育成と活動の助成をします。
- ◇地域福祉の推進
- 世帯更生指導、生活福祉資金の貸付をします。
- ◇老人福祉
- お年寄りの健康増進活動や老人クラブの助成。
- 敬老会。在宅寝たきりや、施設入所老人の歳末慰問を行います。

◇心身障害児(者)福祉

心身障害児(者)と地域社会の交流を促進し、理解と自立のためのお手伝いをします。

◇母子福祉

母子世帯の自立更生を図るための指導、助言、援助をします。

◇心配ごと相談所

民生・児童委員に委嘱。委員が自宅で相談にあたります。

◇民生児童委員活動の協力

民生児童委員とよく連絡をとりながら、要援護世帯の福祉増進のため協力や助成をします。

◇地域福祉・在宅福祉

- ・デイサービスを実施します。
- ・ホームヘルパーの派遣をします。
- ・介護者のリフレッシュを図るため在宅介護者の集いをします。
- ・要援護老人等を対象に、月二回の配食サービスをします。
- ・ボランティアの養成、中学生によるワークキャンプを実施します。
- ・要援護世帯の除雪費の一部を援助します。
- ・日赤分会、共同募金の事務をします。

その他 地域福祉の向上に必要な事業を行います。

・評議員

- 坂 牧 常 英
- 五十嵐 務
- 小 川 和
- 小 池 順 子
- 青 木 源 太郎
- 畔 上 清 四郎
- 星 野 三 男 三
- 星 野 盛 司
- 岡 本 利 男
- 星 野 作 一
- 青 木 光 春
- 小 池 光 忠
- 五十嵐 加 一
- 川 上 孫 三
- 松 井 治 二
- 小 川 晴 司
- 樺 沢 晴 重
- 小 川 精 二
- 高 野 文 子
- 青 木 キ ヨ シ
- 畔 上 啓 蔵





どうぞ、お気軽にご利用ください。

…… なごみ苑は、在宅介護支援センターやデイサービスを ……
 …… はじめ、障害者やボランティアの活動の場、また一般 ……
 …… の皆さんも利用できる温泉「まごめの湯」や休憩施設 ……
 …… など、多目的に活用できる福祉施設です。 ……
 …… どうぞ、お気軽にご利用ください。 ……

在宅介護支援センター

ご家庭でお年寄りを介護されている方々や、ひとり暮らしの方々の悩みにお応えするのが在宅介護支援センターです。

支援センターでは、専門の職員が相談にあたります。相談は無料です。

例えば

- ・高齢者が、寝たきりになった。退院してくるので、介護の方法を相談したい。
- ・デイサービスやホームヘルパーを利用したい。
- ・介護用品がほしいが、どんなものが、良いだろうか。
- ・ひとり暮らしで手助けがほしい。
- ・住宅を高齢者向けに改造したい。
- ・介護者に、泊まりがけの用ができた。
- ・介護に疲れた。たまに休みしたい。
- ・特別養護老人ホームに入所させたい。
- ・老人保健施設を利用したい。 などなど。

デイサービスセンター

在宅で身体の弱いお年寄りや寝たきり、痴呆のお年寄りを日中お世話し、入浴、食事、リハビリ訓練などのサービスを行い、お年寄りの気分転換や介護者の負担の軽減を図るための施設です。

お年寄りだけでなく、身体障害者の方も利用することができます。利用料金は、一日九百円です。



まごめの湯

「まごめの湯」は、なごみ苑の二階にあります。

たいへん眺望がよく、温泉に浸かりながら、右手に金倉山、左手に焼山、正面には黒姫山、遠く妙高連峰を望むことができます。

また、ロケーションだけでなく、ナトリウムウムイオンをはじめ、優れた温泉成分を多く含んでおり、次のとおり多種の効能効果がある温泉です。

ぜひ、ご家族やお友達をお誘いのうえお出かけください。

「効能」疲労回復、肩こり、冷え症、腰痛、神経痛、リュウマチ、あせも、しもやけ、ひび、あかぎれ、うちみ、くじき、痔、荒れ性など。

「入浴料金」
 老人及び障害者 二〇〇円
 その他 三〇〇円
 休憩できる大広間、カラオケもあります。

お気軽にご相談ください。

私達が、相談にあたります。



星野保健婦



佐藤福祉士

配食サービス

ひとり暮らしのお年寄りをはじめ、介護を要するお年寄りや障害者のうち、希望者には、ボランティアの皆さんによる月二回の配食サービスを行っています。

なごみ苑二階の調理実習室では、ボランティアの皆さんが手際よく、心をこめて弁当作りをしています。あなたも、ボランティアに参加してみませんか。希望者は電話をしてください。(5912080)

利用したい方は、在宅介護支援センターか、最寄りの民生・児童委員へご相談ください。
 現在、六〇名余りの利用申請がありますが、まだ利用回数等で希望に添えない状況にあります。なにしろ利用者もスタッフも初めてで慣れないうえ、寝たきりの方もお預かりするの間違いのないようにと懸命に取り組んでいるところです。今月中にはボランティアの皆さんのご協力を得て、利用者の希望に添えるようにと計画しています。



まごめの湯、送迎します。

まごめの湯を利用したいが足がないという方に、村内に限りマイクロバスで送迎します。(土・日曜日を除く。)お誘い合わせのうえ、数名まとめて申し込みください。

(でんわ 5912080)
 デイサービスの合間の送迎です。から一日に一地区程度、先着順となります。早めに予約されることをおすすめします。また都合で送迎できない場合もありますから、あらかじめご了承ください。

民生・児童委員

あなたの地区の
民生・児童委員をご存じですか。

()内は担当地区

民生・児童委員は、厚生大臣の委嘱により、社会奉仕の精神をもって保護指導にあたり、社会福祉の増進に努めることが任務となっており、地域の世話役的な存在として生活保護をはじめ老人福祉、児童福祉、身体障害者福祉、世帯更生指導など、適切な指導、援助に当たっています。

当村では、自宅における「心配ごと相談所」や「在宅介護支援センター」の協力員「もお願いしています。」

相談は無料、秘密は固く守られます。悩みごと、困りごとなどがありましたら、どうぞ、お気軽にご相談ください。

 〔種芋原〕 小川 隆正 (総務)	 〔虫 亀〕 松田 和子 (副総務)	 〔大久保〕 五十嵐 務	 〔種芋原〕 坂牧 常英	 〔種芋原〕 小川 精二
 〔山中、間内平、菖蒲〕 星野 作一	 〔木 籠〕 畔上 喜一	 〔檜 木〕 藤井 正作	 〔全 域〕 小川 和 (主任児童委員)	 〔種芋原〕 長谷川 元治
 〔虫 亀〕 長島 ユキ	 〔油夫、桂谷〕 小池 順子	 〔池 谷〕 斉藤 クミ子	 〔梶 金〕 藤井 千代子	 〔竹 沢〕 星野 信一

デイサービスの開設にあたり採用した社会福祉士の江口則彦さんと、看護婦の佐藤佳子さんから感想をいただきました。

江口さんは新潟市の出身で、デイサービスの中心である生活指導員として、また佐藤さんは、保健婦の勤務出来ない日に代替要員としてパートでデイサービスの看護業務をお願いしています。

☆☆☆☆

この春新しく誕生した地域福祉センターで、デイサービスが始まってはや二か月が経ちました。車体に「山古志村デイサービスセンター」と書かれた真新しいバスやワゴン車が、村内のあちこちを走り回るのを見かけたことがある方も多いかと思えます。

デイサービスを利用されている方々のなかには、身体に障害のある人もいれば特に障害をもっていない人もいます。お年寄りと呼ぶにはまだ早い若い人もいれば、うんと年をとった人

もいます。またひとりで暮らしている人もいれば家族と生活している人もいます。でもどの人にも共通しているのは学校や職場のような「行かなければならない」場所、「しなければならぬ」ことがないことです。

デイサービスセンターはそうした方々が「行きたい」「行かなきゃ」と思う

場所、仲間と語らい、和み、みんなで笑うことのできる場所になることを目指しています。また、ふだん家でお世話をなさっている家族の方々に休んでいただくことも目的としています。

縁あって、このデイサービスが始まると同時に山古志村へやってまいりました。まだまだ行き届かないことだらけですが、皆さんと共によりよいサービスを目指して頑張ってくださいと思っています。

どうぞよろしく願いたします。



江口 則彦



佐藤 佳子

高齢社会を迎え福祉の充実が求められ、山古志村でもいろいろな福祉活動が行われているなかで四月からデイサービスも始まりました。そこで働いている職員の方々は、利用されている皆さんに施設での一日を気持ちよく過ごしていただけるようにと、それは熱心にとりくんでおられます。

私も不慣れで誠に心もとないのですが、時々お手伝いをさせていただく機会がありましたので、デイサービスの様子をご紹介しますと思います。

デイの一日は、利用者を専用車でお迎えに行くことから始まります。施設に到着後健康チェックがあり一人ひとりの状態に応じた入浴サービスがあります。その後、昼食までの間は手作業をしたり、談話に花を咲かせたり、あるいはテレビや将棋を楽しんだり、施設内や屋外を散歩したりします。昼食後

の一時間余りは昼寝をされる方もいたりして思い思いに過ごしています。二時頃になると、リハビリを兼ねた軽い運動やゲームがあり、職員も仲間入りをして和気あいあいの楽しいひとときが過ぎます。三時になるとそれぞれの自宅までお送りしてデイサービスの一日は終わります。

私も皆さんとのふれあいの中でいろいろ勉強させていただき、利用者の立場に立ったお手伝いが出来るように心がけていきたいと思っています。